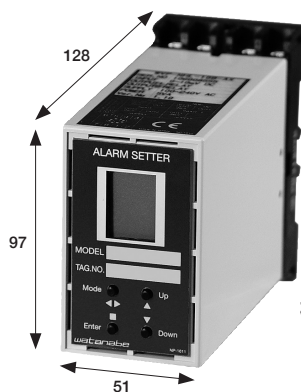


警報設定器(アラームセッタ)

WVP-NHL



標準価格 : 55,000円
テストレポート : +1,000円

※「99」コードについては別途お問い合わせください。

本器は直流電流、電圧信号を入力し、その値が設定値(2点)以上又は以下のときに、リレー接点信号又はオープンコレクタ信号を出力する、プラグイン式の変換器です。

また本器はLCD表示器付きで、入力実量値の確認、警報設定値、警報動作方向、警報反転設定、各種パラメータ変更を本体で行うことができます。リレー接点はa接点です。

特長

- 実量値確認モードで入力実量値の確認
- 警報設定値、入力スケーリング、警報動作方向、警報反転設定、各種パラメータを任意に変更可能
- 長寿命設計
- ワールドワイド電源対応
- CEマーキング適合

型 式

WVP — NHL —

NHL 警報設定器(アラームセッタ)
2点設定(1入力2出力)

	第1入力信号	入力抵抗
10	DC0~10mV	1MΩ
11	DC0~100mV	1MΩ
12	DC0~1V	1MΩ
13	DC0~5V	1MΩ
14	DC1~5V	1MΩ
15	DC0~10V	1MΩ
16	DC0~50mV	1MΩ
17	DC0~60mV	1MΩ
24	DC±5V	1MΩ
25	DC±10V	1MΩ
31	DC0~100μA	1kΩ
32	DC0~1mA	100Ω
33	DC0~10mA	50Ω
34	DC0~16mA	50Ω
35	DC0~20mA	50Ω
36	DC4~20mA	50Ω
99	上記以外 お問い合わせください 電流入力: ±20mA スパン: 100μA~40mA 電圧入力: ±10V スパン: 10mV~20V	

	出力動作
A	2点設定リレーH、H動作
B	2点設定リレーH、L動作
D	2点設定リレーL、L動作
F	2点設定リレーL、H動作
G	2点設定オープンコレクタH、H動作
H	2点設定オープンコレクタH、L動作
I	2点設定オープンコレクタL、L動作
J	2点設定オープンコレクタL、H動作

	テストレポート
X	なし
T	付き

	電源電圧
A	AC100~240V ±10% (50/60Hz)
D	DC24V ±10%
8	DC100~120V ±10%

適合EN規格: EN 61326-1
EN 61010-1
EN IEC 63000
設置カテゴリ: II
汚染度: 2

*1 入力コード「99」の製品はCE対応品としてご使用できません。

仕 様

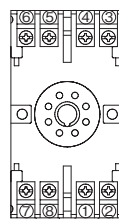
入力信号 直流電流/電圧
出力信号 リレー接点(a接点)またはオープンコレクタ
比較方式 アナログ比較方式
設定数 2点
設定方法 LCD表示器の操作により設定
リレー接点容量 AC250V 5A、DC30V 5A
最小適用負荷 5V 10mA
電気的寿命 10万回以上、機械的寿命 5000万回以上

オープンコレクタ出力容量 DC30V 50mA、ON電圧1.2V以下
再現性 ±0.1%fs
動作表示 通常動作時はLCDが黄色表示
警報時はLCDが赤色表示

構造 プラグイン(本体部とソケット部で構成)
設定精度 ±0.1%fs
応答時間 約50ms(入力変化0~100%、警報設定値が50%に相当する値のとき、警報が出力されるまでの時間)
警報遅延時間設定および警報ヒステリシス設定が最小値、入力フィルタ設定がOFFの場合

消費電力(電流) 約5VA(AC)、約90mA(DC24V)、約15mA(DC)
絶縁抵抗 100MΩ以上(DC500V)
耐電圧 入力-第1出力-第2出力-電源各端子間相互
AC2000V 1分間
入力-第1出力-第2出力-電源各端子間相互

停電時設定保持 本体内部のフラッシュメモリによる保存
使用温度範囲 -5℃~+55℃ 90%RH以下(非結露)
保存温度範囲 -20℃~+70℃、90%RH以下(非結露)
温度特性 ±0.015%/fs/℃
電源電圧の影響 ±0.1%fs(定格電圧内)
外形寸法 97(H)×51(W)×128(D)mm
質量 約240g
外形図 外形寸法図VI参照
結線部位 ベースソケットのM3.5セムスネジ部(締付トルク0.8N・m)
ケース色・材質 アイボリー色・耐熱性ABS樹脂(UL94V-0)
取付方法 DINレール取付または壁面取付け
端子配列



端子番号	記号	内容
1	OUTPUT-1	NO1 出力信号1 (a接)
2		COM1
3	INPUT	+ 入力信号
4		-
5	OUTPUT-2	NO2 出力信号2 (a接)
6		COM2
7	SUPPLY	U(+) 電源
8		V(-)

主な表示内容

WVP-NHLは付属のLCD表示器により、実量値の確認や、警報等の各種設定を行うことが可能です。

		モニターモード		警報設定値モード 警報動作設定変更モード ツールモード
		実量値確認モード	設定値確認モード	
11セグメント*	1行目	入力値	警報1設定値	設定項目
	2行目	警報動作状態	警報2設定値	設定値
レベル表示*		入力レベル		非表示
バックライト	黄色	非警報動作時点灯*		
	赤色	警報動作時点灯		

*1 警報未発生状態で約1分間ボタン操作が行われないうち、バックライトは消灯し、LCD表示は低コントラストで表示します。
ボタン操作を行うことによりバックライトが点灯し、LCD表示は通常のコントラストに戻ります。

設定項目一覧

警報設定値変更モード及び警報動作設定変更モードで設定変更を行える設定項目は以下の通りです。

警報設定値変更モード				
設定項目	機能説明	設定範囲	デフォルト	1行目
警報1： 警報設定値	警報1 警報設定値	入力スケーリング値(カウント値)にて任意に設定可能	スケーリング幅の80%	AL1
警報2： 警報設定値	警報2 警報設定値	入力スケーリング値(カウント値)にて任意に設定可能	スケーリング幅の20%	AL2
警報動作設定変更モード				
設定項目	機能説明	設定範囲	デフォルト	1行目
入力スケーリング範囲設定	入力スケーリングLow/Hi設定の設定範囲と小数点位置を設定	表示 内容 99.99 : 0.00~99.99 999.9 : 0.0~999.9 9999 : 0~9999 -9.99 : -9.99~9.99 -99.9 : -99.9~99.9 -999 : -999~999 以上6モードから選択	0~999.9	0.00
入力スケーリングLow設定	入力0%時の表示値を設定	入力スケーリング範囲内	0.0	0.00
入力スケーリングHi設定	入力100%時の表示値を設定	入力スケーリング範囲内	100.0	100.00
警報1： 警報方向設定	警報1の上方警報：H動作、 下方警報：L動作の設定	Hi：上方向 Lo：下方向	形式による	DIR1
警報1： 警報ヒステリシス設定	警報1の警報解除時のヒステリシス幅の設定	カウント値にて設定	スケーリング幅の0.2%	HYS1
警報1： 警報遅延時間設定	警報1の警報発生検出から警報出力までの遅延時間の設定 (設定された遅延時間内に警報が解除された場合、警報出力はされません。)	0~999(sec)	0(sec)	DLY1
警報1： 警報反転／非反転設定	警報1の警報出力信号の反転／非反転の選択	ON：反転 OFF：非反転	OFF(非反転)	ADO1
警報2： 警報方向設定	警報2の上方警報：H動作、 下方警報：L動作の設定	Hi：上方向 Lo：下方向	形式による	DIR2
警報2： 警報ヒステリシス設定	警報2の警報解除時のヒステリシス幅の設定	カウント値にて設定	スケーリング幅の0.2%	HYS2
警報2： 警報遅延時間設定	警報2の警報発生検出から警報出力までの遅延時間の設定 (設定された遅延時間内に警報が解除された場合、警報出力はされません。)	0~999(sec)	0(sec)	DLY2
警報2： 警報反転／非反転設定	警報2の警報出力信号の反転／非反転の選択	ON：反転 OFF：非反転	OFF(非反転)	ADO2
入力フィルタ設定	移動平均処理のON/OFF 入力フィルタをONすること(移動平均処理)で入力ラインに重畳したノイズの影響を軽減できます。	ON：移動平均32回 OFF：移動平均15回	OFF	FLT
起動遅延時間設定	電源起動時の比較動作開始までの遅延時間設定	0~99(sec)	0(sec)	PdLY
ツールモード				
設定項目	機能説明	LCD表示1行目		
警報出力テストモード1	テスト用に警報出力1のON/OFFを行うことができます。	TEST1		
警報出力テストモード2	テスト用に警報出力2のON/OFFを行うことができます。	TEST2		
入力ゼロ調整	入力0%となる入力信号を設定します。	ADJZ		
入力スパン調整	入力100%となる入力信号を設定します。	ADJW		